

## Impact assessment of climate change on habitat suitability, Kikuchi river

レイハネ, モリド

<https://doi.org/10.15017/4060149>

---

出版情報 : Kyushu University, 2019, 博士 (工学) , 課程博士  
バージョン :  
権利関係 :

氏名	レイハネ モリド
論文名	Impact assessment of climate change on habitat suitability, Kikuchi river (菊池川における気候変動によるハビタット適性の評価)
論文調査委員	主査 九州大学 教授 島谷幸宏 副査 九州大学 教授 矢野真一郎 副査 九州大学 教授 三谷泰浩

### 論文審査の結果の要旨

本研究は気候変動による河川魚類への影響を気候変化、河川の流量レジーム・水温の変化、河川の水量の変化、魚類への変化の一連のプロセスのモデル化により予測した研究であり、気候変動下の生態系への影響を評価する手法論としての新規性があると同時に、菊池川という具体の河川におけるオイカワやカワムツの個別の種の生息環境の予測を行った点に独自性が見られる研究となっている。

本研究は水文学、水理学、生態学の統合的なアプローチにより魚類への気候変動の影響を予測した研究であり、河川工学上、応用生態工学上、価値ある業績であり、博士（工学）に値するものと認める。